

第3章 基本理念

「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち」

近年、NPO等による新しい公共^{*}を担う動きが活発化してきたことは、市民が主体的に地域生活の課題解決に取り組む動きが高まり、持続可能なまちづくりに貢献したい人や楽しく・生きがいのある暮らしを求める人々が増えつつあると捉えています。

生涯学習の推進にあたっては、市民一人一人が、人生のあらゆる段階や場面において、自分に適した手段・方法を選び、主体的に学習に取り組めるよう、NPO、企業、行政等が、それぞれの特性を生かしつつ相互に連携し、生涯学習のまちづくりを進める必要があります。

「第5次那覇市総合計画（2018～2027年度）」（以下「第5次総計」という。）では、本市のまちづくりの進むべき方向性として、関連する政策分野ごとに「めざすまちの姿」を掲げています。「第2次推進計画」においては、この「第5次総計」における生涯学習関連分野でのめざすまちの姿「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち」の実現を基本理念として掲げ、今後5年間の生涯学習を推進していきます。

那覇市は、恵まれた亜熱帯の気候と風土にあって、先人が培ってきた自然、歴史、文化を拠りどころに、生涯学習推進の三つの柱として、「協働による生涯学習のまちづくり」、「『まなびと実践』によるコミュニティづくり～主として学校区域を拠点として～」、「県都『なは』の歴史・文化・地域特性を生かしたまちづくり」を設定し、諸施策に取り組んでいきます。

本市は、子ども達が自ら学び成長することを応援し、その未来を拓く教育を推進するため、家庭、学校、地域がそれぞれの役割を果たし、連携の強化に取り組みます。また、市民が主体的に地域社会に関わり、多様な活動を通して、生活課題の解決や伝統文化の継承等を図ること及び新たな文化を創造することを支援していきます。

新しい公共：近年、環境や福祉、まちづくり等に関する様々な問題に対して、目的を共有する人が自発的に活動して創り出す「公共」が複層的に存在する状況のことをいう。これまで、国や地方公共団体といった「官」が中心に創りあげてきた「公共」に対して、新しい公共は、市民の自発的で多様な活動を中心とし、地域の様々な組織と対等の立場で協働することで創り出されることが、最大の特徴であり、地域の中での人と人とのつながりを生み、人・物・情報のネットワークを広げ、地域の活力を高めることが期待できる。

第2次那覇市生涯学習推進計画の体系

基本理念

施策体系

○「次世代の未来を拓き、豊かな学びと文化が薫る誇りあるまち」

柱1

協働による
生涯学習のまちづくり

方針（1）学習情報の提供・相談や学習プログラムの充実

方策① 学習情報の提供・相談

方策② 地域生活の課題に関する学習プログラムの充実

方針（2）人材育成の充実

方策① 本市職員研修等の充実

方策② 生涯学習に係る自主団体等の育成・支援

方針（3）NPO、大学、企業等との連携

方策：NPO、大学、企業等との連携

柱2

「まなびと実践」による
コミュニティづくり
まなびと実践を軸とした
コミュニティづくり

方針（1）学校区域を拠点としたコミュニティづくり

方策① 総合的な学校開放の推進

方策② 新たな地域自治のしくみづくり

方針（2）家庭教育力・地域教育力の充実

方策① 家庭教育力の充実

方策② 地域教育力の充実

柱3

県都「なは」の歴史・
文化・地域特性を生かした
まちづくり

方針（1）歴史・文化資源等を生かしたまちづくりの推進

方策①：歴史・文化資源等を生かした事業の充実

方策②：市民との協働による歴史理解・文化の振興